

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイビー化粧品

コード番号 4918 URL <http://www.ivy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白銀 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ担当

(氏名) 中山 聖仁

TEL 03-3568-5151

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,575	11.7	98	—	83	—	18	—
22年3月期第3四半期	3,200	△9.6	5	—	△13	—	△37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	0.84	—
22年3月期第3四半期	△1.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,207	2,579	49.5	119.18
22年3月期	5,403	2,680	49.6	123.41

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,579百万円 22年3月期 2,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	7.2	270	120.3	250	144.7	120	391.5	5.53

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 ― 社（社名 ）、除外 ― 社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	25,520,000株	22年3月期	25,520,000株
---------------------	----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	23年3月期3Q	3,872,597株	22年3月期	3,802,800株
-----------	----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	21,707,302株	22年3月期3Q	21,718,040株
------------------	----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気全般は足踏み状態にあるものの、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、一部に持ち直しに向けた動きが見られました。一方、為替レートの変動などにより、景気の下押しリスクも存在し、雇用情勢が依然不透明なことなどから、先行きについては注意が必要な状況が継続しました。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度の向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、動員・増員・増客という基本の仕事を着実にを行うとともに、「アイビーファン10万人づくり」をスローガンに、「SA研修」をはじめとする当社の理念研修や美容研修の開催を積極的行いました。その結果、販売員の各種会議やイベントへの参加率が向上するなど、販売組織全体が活性化してまいりました。

また、平成22年10月には、メイクアップの新色として「アイビー エレガンス スティック ファンデーション（5色）」「アイビー エレガンス クリーム ファンデーション（5色）」「アイビー エレガンス フィニッシュ パウダー」「アイビー エレガンス コンシーラー」を発売しました。さらに、平成22年12月には、「アイビー メイクアップコレクション 輝き小箱」を発売し、好評を博しました。

経営面におきましては、売上高については好調に推移しましたが、原価率が高めに推移しました。一方、利益面につきましては、人件費と販売費が若干増加しましたが、売上好調の効果が大きく、営業利益は増益となり、経常損益、四半期純損益はそれぞれ黒字転換しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,575,290千円（前年同四半期比11.7%増）、営業利益98,779千円（前年同四半期5,605千円）、経常損益83,648千円の利益（前年同四半期13,937千円の損失）、四半期純損益18,227千円の利益（前年同四半期37,993千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,025,611千円（前連結会計年度末は3,110,007千円）となり、前連結会計年度末に比べ84,395千円減少しました。これは主に現金及び預金が166,150千円、たな卸資産が34,363千円増加したものの、受取手形及び売掛金が259,419千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は2,181,612千円（前連結会計年度末は2,290,460千円）となり、前連結会計年度末に比べ108,848千円減少しました。これは主に有形固定資産が65,133千円減少したことによるものであります。なお、投資不動産仮勘定が292,466千円減少し、投資不動産が285,102千円増加しております。

(繰延資産)

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は690千円（前連結会計年度末は2,763千円）となり、前連結会計年度末に比べ2,072千円減少しました。これは社債発行費が2,072千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,267,878千円（前連結会計年度末は1,820,197千円）となり、前連結会計年度末に比べ447,681千円増加しました。これは主に未払法人税等が51,504千円、賞与引当金が48,841千円減少したものの、1年内償還予定の社債が500,000千円、支払手形及び買掛金が72,080千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は360,161千円（前連結会計年度末は903,016千円）となり、前連結会計年度末に比べ542,854千円減少しました。これは主に社債が530,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,579,874千円（前連結会計年度末は2,680,018千円）となり、前連結会計年度末に比べ100,143千円減少しました。これは主に当第3四半期連結累計期間の四半期純利益が18,227千円計上されたものの、剰余金の配当が108,586千円計上されたことによるものであります。この結果、自己資本比率は、49.5%（前連結会計年度末は49.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、配当金の支払、法人税等の支払等があるものの、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ166,150千円増加し、当第3四半期連結会計期間末には1,286,964千円となりました。

また当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は326,134千円（前年同四半期比4,508千円増）となりました。

これは主に法人税等の支払額71,039千円、未払金の減少額57,425千円、賞与引当金の減少額48,841千円等があるものの、税金等調整前四半期純利益86,887千円、売上債権の減少額259,419千円、減価償却費110,731千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は2,352千円（前年同四半期比155,180千円減）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出15,167千円等があるものの、貸付金の回収による収入9,225千円、差入保証金の回収による収入4,287千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は162,124千円（前年同四半期比102,546千円減）となりました。

これは主に配当金の支払額109,811千円、社債の償還による支出30,000千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き厳しい環境が続くと見込んでおります。そのような状況も鑑み、グループ全体で販売費及び一般管理費の節減に努め、経営努力を引き続き行ってまいります。また、厳しい状況は続くものの、メイクアップ新製品やボディケア新製品、美白スキンケアシリーズ「ブランクレエ」（医薬部外品）の販売も見込め、平成22年5月14日付けの「平成22年3月期決算短信」に公表いたしました予想を達成することができると思込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,336,964	1,170,814
受取手形及び売掛金	884,817	1,144,237
商品及び製品	421,412	459,924
仕掛品	23,974	16,050
原材料及び貯蔵品	240,005	175,053
その他	164,931	190,237
貸倒引当金	△46,494	△46,309
流動資産合計	3,025,611	3,110,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	518,250	553,231
土地	521,190	521,190
その他（純額）	122,488	152,640
有形固定資産合計	1,161,928	1,227,062
無形固定資産	66,693	89,169
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	285,102	—
差入保証金	402,652	406,991
投資不動産仮勘定	—	292,466
その他	324,524	341,482
貸倒引当金	△59,289	△66,712
投資その他の資産合計	952,989	974,228
固定資産合計	2,181,612	2,290,460
繰延資産		
社債発行費	690	2,763
繰延資産合計	690	2,763
資産合計	5,207,914	5,403,231

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	389,945	317,865
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	730,000	230,000
未払法人税等	135	51,639
賞与引当金	51,155	99,996
返品廃棄損失引当金	—	8,600
その他	296,642	312,096
流動負債合計	2,267,878	1,820,197
固定負債		
社債	120,000	650,000
退職給付引当金	101,587	101,092
その他	138,574	151,924
固定負債合計	360,161	903,016
負債合計	2,628,039	2,723,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	2,821,443	2,911,802
自己株式	△1,268,588	△1,259,672
株主資本合計	2,700,854	2,800,129
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,478	△610
土地再評価差額金	△119,500	△119,500
評価・換算差額等合計	△120,979	△120,111
純資産合計	2,579,874	2,680,018
負債純資産合計	5,207,914	5,403,231

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	3,200,291	3,575,290
売上原価	777,843	984,370
売上総利益	2,422,447	2,590,919
販売費及び一般管理費	2,416,842	2,492,140
営業利益	5,605	98,779
営業外収益		
受取利息	3,438	3,460
受取配当金	246	426
受取賃貸料	33,069	31,163
雑収入	14,604	18,856
営業外収益合計	51,358	53,907
営業外費用		
支払利息	16,589	15,075
賃貸収入原価	42,943	45,875
雑損失	11,368	8,086
営業外費用合計	70,901	69,037
経常利益又は経常損失(△)	△13,937	83,648
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	3,239
特別利益合計	—	3,239
特別損失		
減損損失	1,593	—
特別損失合計	1,593	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,531	86,887
法人税、住民税及び事業税	691	19,695
法人税等調整額	21,770	48,965
法人税等合計	22,462	68,660
少数株主損益調整前四半期純利益	—	18,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,993	18,227

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,531	86,887
減価償却費	131,133	110,731
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24,814	494
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△117,706	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,066	△48,841
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18,687	△7,239
受取利息及び受取配当金	△3,685	△3,887
支払利息	16,589	15,075
為替差損益(△は益)	21	212
有形固定資産除売却損益(△は益)	151	272
売上債権の増減額(△は増加)	446,774	259,419
たな卸資産の増減額(△は増加)	△183,592	△34,363
仕入債務の増減額(△は減少)	165,030	72,080
未払金の増減額(△は減少)	△61,980	△57,425
未払役員退職慰労金の増減額(△は減少)	112,398	—
その他	△26,081	15,464
小計	407,330	408,882
利息及び配当金の受取額	3,752	3,821
利息の支払額	△16,920	△15,529
法人税等の支払額	△72,535	△71,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,626	326,134
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,356	△15,167
無形固定資産の取得による支出	△4,970	△4,931
貸付金の回収による収入	11,936	9,225
差入保証金の差入による支出	△256	△164
差入保証金の回収による収入	178,179	4,287
その他	—	9,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,533	2,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,782	△13,396
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△168	△8,916
配当金の支払額	△216,719	△109,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264,670	△162,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△212
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	214,467	166,150
現金及び現金同等物の期首残高	1,361,712	1,120,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,576,179	1,286,964

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社グループは化粧品専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、生産実績のセグメント情報の記載は省略しております。

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の化粧品部門の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		増減	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
	スキンケア	2,949,604	83.9	2,676,148	80.8	△273,456	△9.2
	メイクアップ	417,475	11.9	418,992	12.7	1,516	0.3
	ヘアケア	93,717	2.7	189,049	5.7	95,332	101.7
	その他	53,572	1.5	28,362	0.8	△25,210	△47.0
アイビー化粧品計		3,514,370	100.0	3,312,553	100.0	△201,817	△5.7
アイプラティナ		—	—	—	—	—	—
合計		3,514,370	100.0	3,312,553	100.0	△201,817	△5.7

(注) 1. 金額は、販売価格で表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 「アイプラティナ」は、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間共に、生産実績はありません。

(2) 商品仕入実績

当社グループは化粧品専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、商品仕入実績のセグメント情報の記載は省略しております。

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		増減	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
	美容補助商品	142,653	80.7	154,119	83.9	11,465	8.0
	化粧雑貨品等	34,009	19.3	29,611	16.1	△4,397	△12.9
アイビー化粧品計		176,662	100.0	183,731	100.0	7,068	4.0
アイプラティナ		—	—	—	—	—	—
合計		176,662	100.0	183,731	100.0	7,068	4.0

(注) 1. 金額は、仕入価格で表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 「アイプラティナ」は、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間共に、商品仕入実績はありません。

(3) 受注状況

当社グループは受注生産を行っておりませんので、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、販売実績のセグメント情報の記載は省略しております。

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別			前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		増減	
			金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
		スキンケア	2,488,818	77.8	2,566,774	71.8	77,955	3.1
		メイクアップ	256,476	8.0	450,430	12.6	193,954	75.6
		ヘアケア	109,513	3.4	212,888	6.0	103,375	94.4
		その他	44,622	1.4	39,544	1.1	△5,077	△11.4
	化粧品合計		2,899,430	90.6	3,269,638	91.5	370,208	12.8
	美容補助商品		254,074	7.9	264,397	7.4	10,322	4.1
	化粧雑貨品等		42,976	1.4	41,255	1.1	△1,721	△4.0
	アイビー化粧品計		3,196,481	99.9	3,575,290	100.0	378,809	11.9
	アイプラティナ		3,810	0.1	—	—	△3,810	△100.0
	合計		3,200,291	100.0	3,575,290	100.0	374,999	11.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「アイプラティナ」は、当第3四半期連結累計期間の販売実績はありません。